

平成 24 年 8 月 7 日

実務対応専門委員会の再設置について

１．提案の背景

- ASBJ では、ここ数年コンバージェンス作業を優先してきたことから、実務対応レベルの問題について必ずしも十分な対応が図られておらず、関係者からこうした分野への対応強化の要望が寄せられている。
 - 実務対応レベルの問題としては以下のような分野が想定される。
 - ◇ 既存の会計基準等の解釈
 - ◇ 新しい取引等に対する当面の取扱い
- 一方で、7 月 11 日に開催された第 15 回基準諮問会議（以下「諮問会議」）では、諮問会議の活性化を図るべくテーマ選定方法の手順に関する検討が行われ、テーマ選定方法の手順に実務対応専門委員会におけるテーマ評価を組み込む案が採用されることとなった（参考資料）。
- こうした状況を受けて、実務対応専門委員会の再設置を提案するものである。

２．専門委員会の目的

- テーマ提言のための評価
実務対応レベルの問題について、論点の整理、実務上の影響の程度、実行可能性、緊急性の検討等の評価を行い、諮問会議のテーマ提言の判断のための情報を提供する。
- 実務対応レベルの論点の検討
諮問会議からテーマ提言され、または、ASBJ で独自に発議されたテーマについて、ASBJ でテーマアップが決定された実務対応レベルの論点について検討を行い、実務対応報告等の案を作成する。

３．専門委員会の構成（案）

- 作成者、利用者及び監査人から専門委員を選任する。なお、諮問会議のテーマ担当委員がオブザーバーとして参加する。
- 専門委員候補者は、審議事項(1)-3 の通り。

以 上